



対話的な学び



富山県総合教育センター 教育研修部

教師の問いかけ

- 考えの根拠や思考の流れが分かる
よう言ったり書いたりするよう助
言する
- 比較する視点を明確にした話合い
の場を設ける
- 構造化した板書で、子供の考えを
可視化する
 - ・ ネームプレート
 - ・ 思考スキル
- 考えの共通点や相違点に着目する
- 考えの中の小さな違いにまで着目
することの大切さを意識付ける

対話的な学び



互いの考え
を比較する ⑥



互いの考えを 比較する

- 考えを比べながら、
進めた
- 「私は～と思うけど、
君は～なんだね」

教師の問いかけ

- 課題解決につながる情報提供を行う
- 多様な情報収集の手段を提供する
 - ・本
 - ・インターネット
 - ・公的機関
 - ・身近な人 等
- 情報の信憑性を吟味することを伝える
- 情報の整理の方法を提示する
- 収集した情報の共有の場を設ける

対話的な学び



多様な情報を収集する ⑦



多様な情報を収集する

- いろいろな考えを集めて考えた
- 「自分たち以外の人、どう思うかな」
- 見つけた情報を、もう一度見直して、良さや問題点を見つけようとした

教師の問いかけ

- 考えをつくる過程や根拠等をノートやワークシートに残すようにする
- 互いの思考を可視化できるようにする
 - ・短冊
 - ・ホワイトボード
 - ・学習シート
- 追体験の場を設定して、考えを共有できるようにする
- 互いに意見交換したり確かめ合ったりする場を設ける

対話的な学び



思考を表現に
置き換える

⑧



思考を表現に 置き換える

- 考えを、文や図に表して考えを伝えた
- 相手に分かりやすい表し方を工夫した

教師の問いかけ

○他者へ説明することの意義を確認する

- ・ 知識を再構成する
- ・ 情報の共有をはかる
- ・ 活動の目的を明確にする
- ・ 相互に評価する など

○目的や相手に合わせて、伝える方法を選択できるようにする

- ・ 図、式、言葉
- ・ レポート、新聞
- ・ ポスター
- ・ プレゼンテーションソフト 等

○質問や疑問を受けて再検討する時間を設ける

対話的な学び



多様な手段
で説明する

⑨



多様な手段で説明する

- 伝える手段を工夫して説明した

教師の問いかけ

- 子供の思考の助けとなる人的教材を探す
- 先哲の具体的な考えを、学級全体で共有する
- 活用の目的と視点を子供に明示する
- 自己の考えを形成するよう、自分はどう考えるか問いかける

対話的な学び



先哲の考え方を
手掛かりとする

10



先哲の考えを手がかりとする

- 本や資料を手掛かりにして考えた
- 昔の人の考えを参考にして考えを深めた

教師の問いかけ

- 目的の明確な話し合いの場をつくる
- 必要感のある交流の場を設定する
 - ・時間
 - ・タイミング
- 目的に合った集団の形態や交流の方法を工夫する
 - ・人数
 - ・形態
 - ・まとめ方
 - ・ゴールの姿
- 複数の視点や根拠をもとに思考・判断する課題を提示する
- 意見の相違を確認し合い、課題に対する結論を練り上げる

対話的な学び



共に考えを
創り上げる **11**



共に考えを創り上げる

- 友達の考えを聞いて、納得したり、考えが変わったりした
- 友達と一緒に、考え進めた

教師の問いかけ

○集団で解決する必要のある課題を設定する

○課題解決のゴールをイメージする

- ・お互いの考えを理解する
- ・最適解・納得解を創り上げる

○解決する方法が多様な課題を設定する

○考える視点を共有する場を設定する

○予想に対する意見を話し合い、解決方法について吟味する場を設定する

○相互評価の場を設定する

対話的な学び



協働して
課題解決する⑫



協働して課題解決する

- 課題解決に向けて考えを出し合った
- 一緒に活動したおかげで、分かったことやできたことが見つかった